

城南家保ニュース Vol.19-7

熊本県城南家畜保健衛生所 平成19年 7月 発行

<http://www.pref.kumamoto.jp/construction/section/kaho/jounan/jounan-index.htm>

電話 0966-22-3814、FAX 0966-22-3617



牛が死亡したら迅速な搬入を！

(適切なBSE検査材料確保のために)

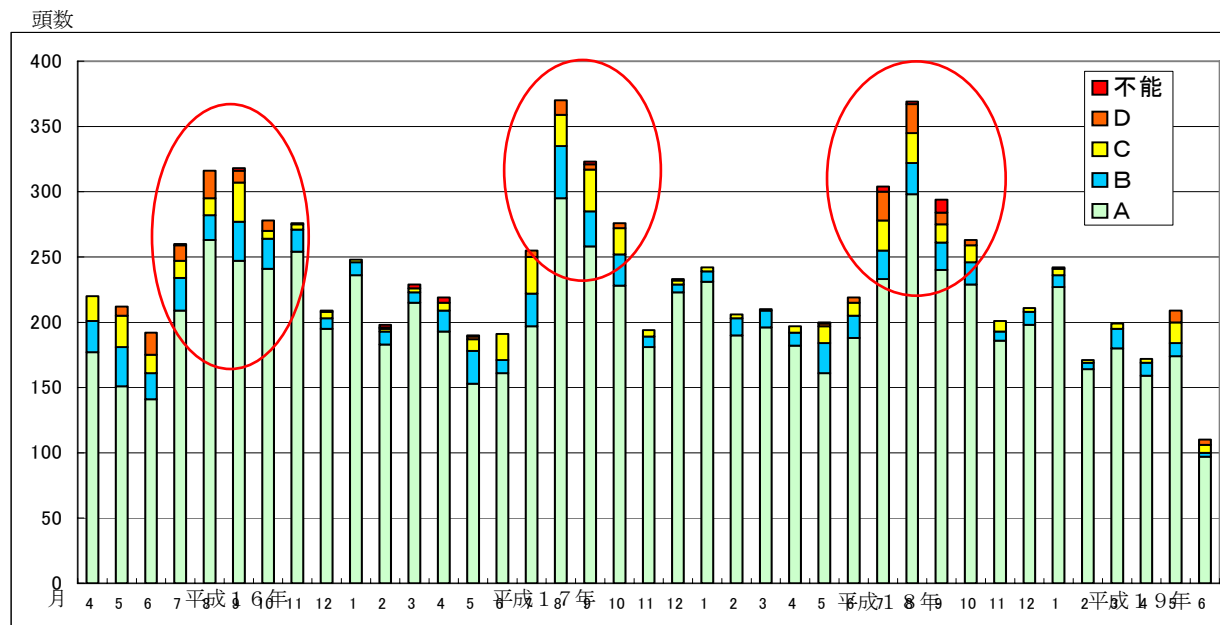
例年夏場においては、暑熱の影響により死亡する牛が増加します。

さらに、気温が高くなると腐敗が短時間で進行し、農場内に放置すると不衛生であり、地域住民に対し、悪臭などの環境的な問題も懸念されます。

また、下のグラフに示すように、例年夏場にBSE検査材料の鮮度が悪い牛が多くなり、検査が困難になる場合があります。

そこで、特に夏場においてはBSE検査所（菊池市）への迅速な搬入をお願いします。

グラフ：BSE検査材料の鮮度別頭数の推移



検査材料の鮮度別区分

A 鮮度が良い状態 **B** 鮮度は悪いが形が確認できる。 **C** **D** 腐敗し、臭気が強く検査が困難。 **不能**

死亡牛は腐敗すると環境対策上化製処理が不可能となり、処理料金が高くなります。



35,000円（月齢に関係なく一律）（通常は、6,000円～16,000円）

腐敗の進行が著しく、化製処理が困難となった死亡牛を搬入された場合

死亡牛を出さないために、農場の暑熱対策にも注意しましょう。

死亡牛に関する問い合わせ先

・熊本県畜産協会・衛生飼料部

電話 **096-369-7745**

・熊本県中央家畜保健衛生所・BSE検査所

電話 **0968-26-3200**

<http://www.pref.kumamoto.jp/construction/section/kaho/bse/bse-index.htm>

・(株)熊本蛋白ミール公社

電話 **0968-26-3766**